

区内女子
ラグビーチーム

7人制大会で初優勝

創部以来の悲願達成

戸塚区に拠点を持つ女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」が4月23、24日、埼玉で行われた国内最高峰の7人制ラグビー大会(※)で創部以来の初優勝を果たした。27日には戸塚区役所に國本直哉区長を表敬訪問、惜しみない賛辞が送られた。

今回優勝したのは、「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」の熊谷大会。12チームが出場する女子ラグビーの最高峰大会だ。3グループがリーグ戦形式で勝敗を決め、各上位2チームがトーナメントで最終成績を決める。TKMはグループ2位で通過した。

圧倒的な強さ示す

トーナメント第1戦では日本体育大学(青葉区)と

争い、39対0で完封勝利。続く準決勝は

昨シーズン1位のながとブルージェルス(山口

松永主将(右から2人目)から國本区長にボールが手渡された



県)相手に、24対19で勝利

をもぎ取った。

決勝戦は、リーグ戦で敗戦を喫した昨シーズン2位の東京山九フェニックス(東京都)。前半でトライとキックを1本ずつ決め、続く後半でも2本のトライを奪取。守備面でも失点を許すことなく、17対0の完封勝利を果たした。

「信じられない」

大会後の区長訪問では、7トライを決めMVPにも輝いたニュージールランド出身のグレイス・ククタイ選手が「楽しくプレーができた。今回の大会でチームとして大き

く成長できたのでは」と

コメント。長谷部直子監督は「毎年優勝を掲げてやってきたので本当によく思う。今年は、走り続けること」をテーマにやってきた。その成果が出たのでは」と話し、松永美穂主将は「いまだに信じられない状態で、本当に良かった。これからも応援してください。これからも元気に頑張ってほしい」と話した。

訪問を受けた國本区長は「優勝の報告が聞けて非常にうれしく思う」とたたえながら、「自分もサッカーを小中高大まで

(※)7人制ラグビー(セブンズ)

通常の15人制ラグビーと試合時間、ルールなどが異なる。2016年のリオ五輪から正式種目に。

同チームは2011年に共立病院などで知られる現・(医)横浜未来ヘルスケアシステムが女子7人制ラグビーチームとして設立。当初のTKM7(戸塚共立メディカルセブンズラグビークラブ)から名称を変え、現在はYOKOHAMA TKMとして29人の選手が所属し、7人制と15人制に参加。選手らは同法人医療機関や看護学校などに従事している。



大会の試合風景=同チーム提供

続けてきたので、ラグビーもサッカーも走ることができる。次も優勝目指して頑張ってもらいたい」とエールを送った。